



2022年3月期 第3四半期 決算説明会

2022年2月14日
パーソルホールディングス

1 2022年3月期第3四半期決算概要

- 当第3四半期実績は全SBUで前年同期を上回って着地
- 通期業績予想に対する営業利益の進捗率は85%まで到達し、業績予想達成に向け順調に推移

2 PERSOLKELLY株式追加取得及び今後の事業戦略

- 収益性の向上に注力するフェーズに入り、当社にて独自に経営判断ができるよう、株式の追加取得を決定
- 事業戦略を推進し、2026年3月期にはPERSOLKELLYの利益率を現状の2倍以上へ
- Asia Pacific SBU全体の中期事業戦略及び数値目標については、2022年8月の2023年3月期第1四半期決算発表時に開示予定

2022年3月期 第3四半期累計 決算概要

2022年3月期 第3四半期累計 決算概要（連結）

➤ 前年同期比増収増益となり、通期業績予想に対する営業利益の進捗率は85%まで到達

（単位：百万円）

	21/3期 第3四半期累計 実績	22/3期 第3四半期累計 実績	前年同期比	（ご参考） 22/3期 通期業績予想	進捗率
売上高	703,838	780,190	+10.8%	1,060,000	73.6%
営業利益	21,881	40,811	+86.5%	48,000	85.0%
営業利益率	3.1%	5.2%	+2.1pt	4.5%	-
EBITDA	34,674	54,876	+58.3%	66,700	82.3%
当期純利益*	12,524	23,932	+91.1%	27,700	86.4%
調整後EPS（円）	80.34	130.18	+62.0%	155.60	83.7%

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

（注） 当第3四半期より、Asia Pacific SBUの豪州事業においてSaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）の会計処理を変更したことにより、前期実績、当期実績及び業績予想につきまして、当該影響を加味した数値としております（以下同じ）

2022年3月期 第3四半期累計 SBU別売上高

- 主力のStaffing SBUは堅調に推移するとともに、Career SBUが牽引し、全てのSBUで前年同期を上回って着地

(単位：百万円)

	21/3期 第3四半期累計 実績	22/3期 第3四半期累計 実績	前年同期比	(ご参考) 22/3期 通期業績予想	進捗率
連結	703,838	780,190	+10.8%	1,060,000	73.6%
Staffing	394,369	426,082	+8.0%	576,700	73.9%
Career	43,310	53,644	+23.9%	73,400	73.1%
Professional Outsourcing	82,377	88,579	+7.5%	119,300	74.2%
Solution	3,783	7,921	+109.3%	11,400	69.5%
Asia Pacific	186,789	212,687	+13.9%	286,500	74.2%
その他	8,449	10,323	+22.2%	14,200	72.7%
調整	△15,240	△ 19,047	-	△21,500	-

2022年3月期 第3四半期累計 SBU別営業利益

- Staffing SBUで収益性の高いBPO領域が伸長したことや、Career SBUのCOVID-19からの力強い回復を受け、全てのSBUで前年同期を上回って着地

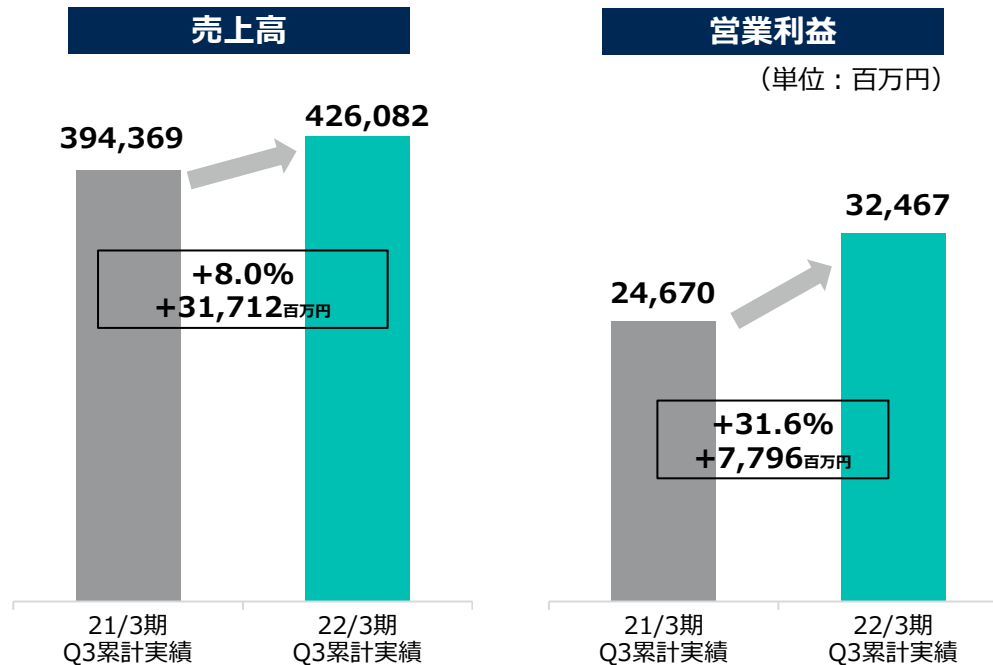
(単位：百万円)

	21/3期 第3四半期累計 実績	22/3期 第3四半期累計 実績	前年同期比	(ご参考) 22/3期 通期業績予想	進捗率
連結	21,881	40,811	+86.5%	48,000	85.0%
Staffing	24,670	32,467	+31.6%	38,900	83.5%
Career	△328	5,153	-	6,100	84.5%
Professional Outsourcing	2,471	5,125	+107.4%	6,700	76.5%
Solution	△3,793	△ 2,273	-	△3,100	-
Asia Pacific	△1,407	304	-	500	60.8%
その他	△597	△ 324	-	△500	-
調整	866	357	△58.8%	△600	-

SBU別決算概要 –Staffing SBU–

■ 第3四半期累計業績コメント

主力の派遣領域は派遣稼働者数が終了数の抑制により増加し、堅調に推移するとともに、BPO領域では公共案件を中心とした受注が引き続き好調に推移し、増収増益



■ 四半期業績コメント

派遣

終了数の抑制により、稼働者数は引き続き順調に増加

- 受注数：前年同期比約30%増加
- 確定数：前年同期比約25%増加
- 終了数：前年同期比では増加も、依然としてCOVID-19前の水準を下回って推移

BPO

公共案件の好調な受注が寄与し、大きく増収増益

売上増減分析 (主な要因)

SBU全体では前年同期比9.4%の増収

① 派遣：7.1%の増収

- 稼働者数 +6.9%
- 単価 +0.5%
- 稼働時間等 △0.3%
- 稼働日 ±0% (前年同期と同日数)

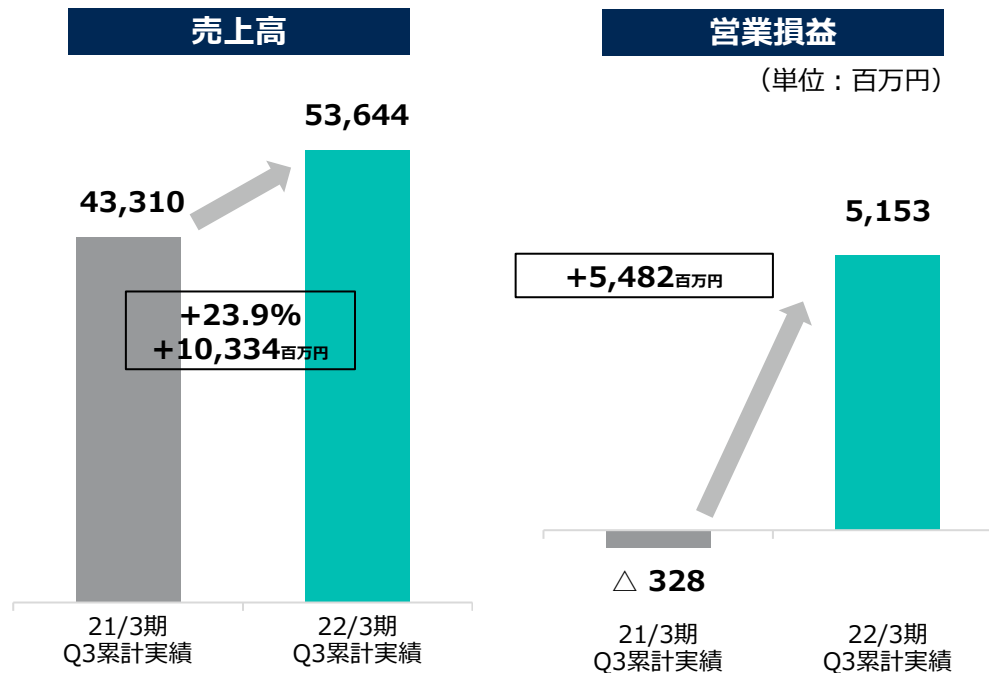
② BPO：35.8%の増収

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年同期比
売上高	134,086	146,728	+9.4%	394,369	426,082	+8.0%
営業利益 (営業利益率)	8,361 (6.2%)	10,606 (7.2%)	+26.8% (+1.0pt)	24,670 (6.3%)	32,467 (7.6%)	+31.6% (+1.4pt)
EBITDA	9,265	11,596	+25.2%	27,463	35,362	+28.8%

SBU別決算概要 –Career SBU–

■第3四半期累計業績コメント

人材紹介事業、求人広告事業ともに堅調に推移した結果、増収、黒字計上



■四半期業績コメント

人材紹介事業の内定決定者数及び求人広告事業の受注が堅調な推移を見せた結果、前年同期比増収、黒字計上

人材紹介

- 前年同期比約35%の増収
- 内定決定者は前年同期比約1.4倍と増加

求人広告

- 堅調な業績推移の結果、前年同期比30%近く増収

投資

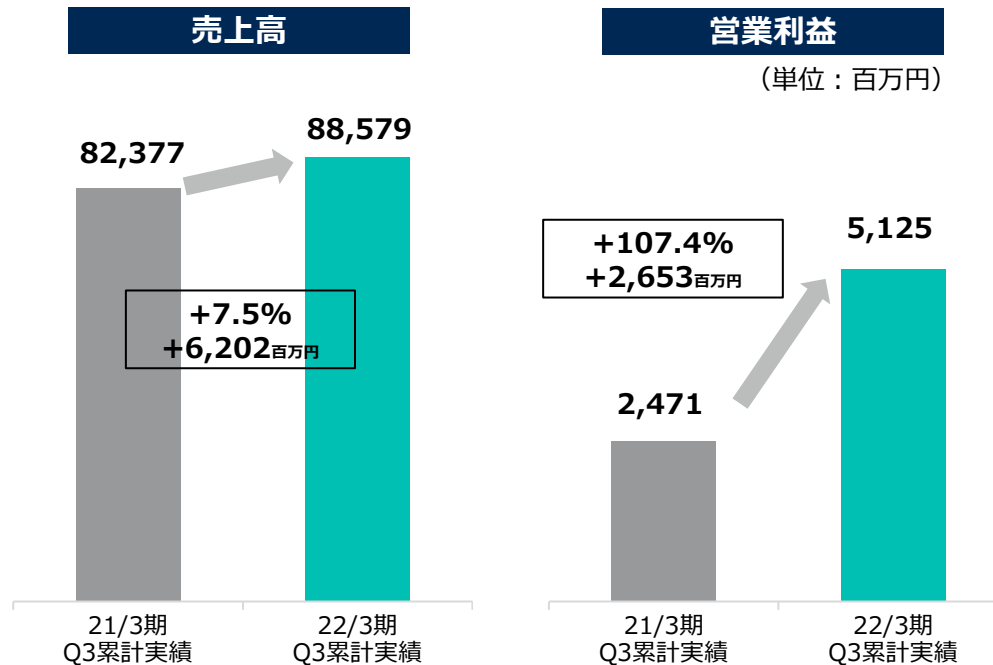
- 求職者登録に向けたマーケティング投資は継続

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年同期比
売上高	13,595	18,702	+37.6%	43,310	53,644	+23.9%
営業損益 (営業利益率)	△466 (△3.4%)	1,960 (10.5%)	–% (+13.9pt)	△328 (△0.8%)	5,153 (9.6%)	–% (+10.4pt)
EBITDA	395	2,894	+631.7%	2,185	7,944	+263.5%

SBU別決算概要 – Professional Outsourcing SBU–

■ 第3四半期累計業績コメント

エンジニアリング領域の売上伸長に加え、IT領域も成長を維持し、増収増益



■ 四半期業績コメント

IT (売上構成比率 約40%)

- 引き続き、需要は堅調で7%増収し、増益
- 稼働率：約95%を維持
- エンジニア数：約4,600名（前年同期比+9.8%）

エンジニアリング (同 約25%)

- マーケットの戻りを受け14%増収し、増益
- 稼働率：約95%に伸長
- エンジニア数：約3,200名（前年同期比+1.7%）

IT/エンジニアリング派遣 (同 約35%)

- 引き続き、IT領域は堅調、エンジニアリング領域も回復したことにより7%増収し、増益
- 稼働技術者数*：約5,900名（前年同期比+5.0%）

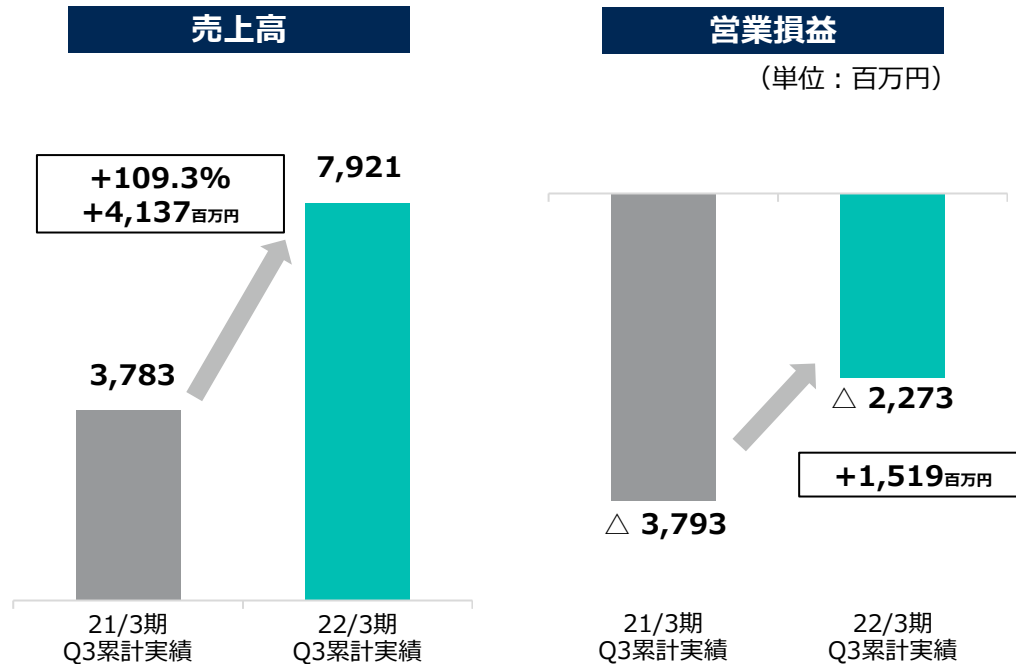
*稼働技術者数は登録型エンジニアを含む

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年同期比
売上高	28,680	30,830	+7.5%	82,377	88,579	+7.5%
営業利益 (営業利益率)	1,481 (5.2%)	2,320 (7.5%)	+56.6% (+2.4pt)	2,471 (3.0%)	5,125 (5.8%)	+107.4% (+2.8pt)
EBITDA	1,861	2,701	+45.1%	3,595	6,259	+74.1%

SBU別決算概要 –Solution SBU–

■ 第3四半期累計業績コメント

主力事業である転職アプリ事業「マイダス」・クラウドPOS事業「POS+（ポスタス）」がともに増収し、SBUとしても大幅増収。積極投資を継続する一方、増収の寄与により赤字幅は縮小



■ 四半期業績コメント

マイダス

- 引き続き、好調に推移し、前年同期比大きく増収
- 累計アカウント企業数は中小企業を中心に伸長し、12月末時点で約33万社に（前年同月：約21万社）

POS+（ポスタス）

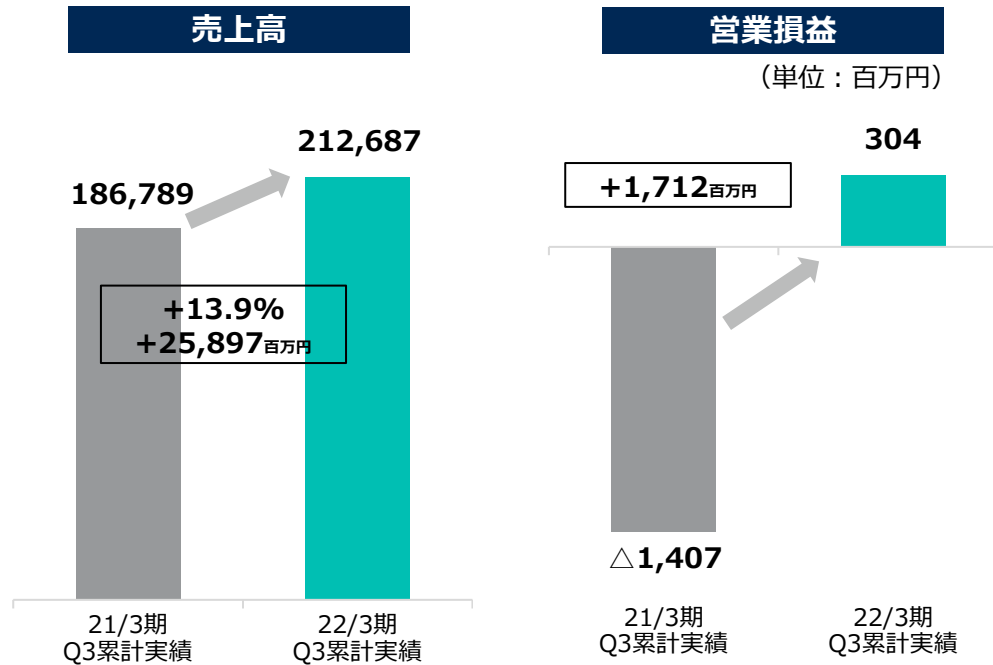
- 飲食の景況感の悪化を受けながらも、累計導入店舗数が前年同期比で約1.2倍と、引き続き順調に拡大
- 飲食や小売、理美容以外にも、官公庁や自治体のDXとして新たな市場セグメントを開拓

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年同期比
売上高	1,593	2,966	+86.1%	3,783	7,921	+109.3%
営業損益 (営業利益率)	△1,095 (△68.8%)	△708 (△23.9%)	-% (+44.9pt)	△3,793 (△100.2%)	△2,273 (△28.7%)	-% (+71.5pt)
EBITDA	△781	△304	-%	△3,004	△1,146	-%

SBU別決算概要 –Asia Pacific SBU①–

■第3四半期累計業績コメント

ProgrammedでCOVID-19の影響を受けたが、主にPERSOLKELLYの伸長と豪ドル高で増収
利益面は、会計処理の適用による影響はあったものの、増収効果により、黒字計上



■四半期業績コメント（現地:2021年7月～9月）

PERSOLKELLY

売上は+18%の増収、営業利益は+51%の増益
人材紹介事業の高い成長が大幅増益に貢献

【現地通貨ベースでのコメント】

- 派遣事業は堅調推移、人材紹介事業は高い成長を実現。大半の地域で売上はCOVID-19前水準を超える
- 収益性の高い人材紹介事業の成長により大幅に増益

Programmed

豪ドル高もあり+13%の増収。利益面は、SaaS会計処理の変更による影響(約△4億円)により、△5.5億円の営業損失

【現地通貨ベースでのコメント】

- ロックダウンによる稼働制限と人手不足により、Q3は回復鈍化。Staffing事業は前年同期比横ばい、Maintenance事業は約10%の増収で着地
- COVID-19の影響を最小化すべく、コストコントロールに努めたが、SaaS会計処理の影響により営業損失を計上

現地10月～12月の状況

PERSOLKELLY :

派遣事業・人材紹介事業共に順調な推移。来期以降の成長に向け、人材紹介事業における人員の増強に取り組む

Programmed :

ロックダウンの解除を受け、Staffing事業・Maintenance事業ともに受注は好調に推移。人手不足に対処すべく供給力の確保に加え、コストコントロールに取り組む

SBU別決算概要 –Asia Pacific SBU②–

Asia Pacific SBUにおける、PERSOLKELLYとProgrammedの内訳は下記のとおり

(単位：百万円)

	21/3期 Q3*1	22/3期 Q3*1	前年同期比	21/3期 Q3累計*1	22/3期 Q3累計*1	前年同期比
売上高*	62,124	71,183	+14.6%	186,789	212,687	+13.9%
PERSOLKELLY	16,186	19,145	+18.3%	53,134	54,582	+2.7%
Programmed	45,938	52,037	+13.3%	133,655	158,104	+18.3%
営業損益* (営業利益率)	△729 (△1.2%)	△ 277 (△ 0.4%)	–% (+0.8pt)	△1,407 (△0.8%)	304 (0.1%)	–% (+0.9pt)
PERSOLKELLY	261	395	+51.2%	△49	829	–%
Programmed	△889	△ 552	–%	△1,191	△ 183	–%
EBITDA*	772	1,394	+80.5%	3,110	5,350	+72.0%
PERSOLKELLY	436	558	+28.0%	503	1,333	+164.6%
Programmed	437	953	+117.7%	2,773	4,352	+56.9%

* 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を管掌する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません

SBU別決算概要 –その他・調整–

その他（ホールディングス直轄会社）

■ 四半期業績コメント

- 売上高は、特例子会社における障害者雇用事業のグループ内取引が増加した結果、前年同期比で増収
- 利益面は、上記取引増加の結果、特例子会社における人件費を主としたコスト増により減益

（単位：百万円）

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年 同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年 同期比
売上高	3,428	3,980	+16.1%	8,449	10,323	+22.2%
営業損益 (営業利益率)	263 (7.7%)	229 (5.8%)	△12.9% (△1.9pt)	△597 (△7.1%)	△324 (△3.1%)	-% (3.9pt)
EBITDA	350	344	△1.6%	△359	17	-%

調整（コーポレート及び連結調整）

■ 四半期業績コメント

- 広告宣伝費やリモートワーク推進対応、ワクチン職域接種等コスト増により、若干の赤字計上

（単位：百万円）

	21/3期 Q3	22/3期 Q3	前年 同期比	21/3期 Q3累計	22/3期 Q3累計	前年 同期比
売上高	△5,425	△7,047	-%	△15,240	△19,047	-%
営業損益	191	△55	-%	866	357	△58.8%
EBITDA	457	164	△64.1%	1,683	1,088	△35.4%

2022年3月期 通期業績予想

2022年3月期 通期業績予想

➤ 第2四半期決算発表時と変更なし

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 予想	前年同期比
連結売上高	950,722	1,060,000	+11.5%
営業利益	25,724	48,000	+86.6%
営業利益率	2.7%	4.5%	+1.8pt
EBITDA	43,170	66,700	+54.5%
当期純利益*	15,341	27,700	+80.6%
調整後EPS(円)	100.98	155.60	+54.1%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年3月期 業績予想 SBU別売上高



(単位：百万円)

	22/3期			21/3期		
	Q3累計実績	Q4予想	通期予想	Q3累計実績	Q4実績	通期実績
連結	780,190	279,809	1,060,000	703,838	246,883	950,722
Staffing	426,082	150,617	576,700	394,369	135,870	530,240
Career	53,644	19,755	73,400	43,310	16,258	59,568
Professional Outsourcing	88,579	30,720	119,300	82,377	30,718	113,095
Solution	7,921	3,478	11,400	3,783	1,918	5,702
Asia Pacific	212,687	73,812	286,500	186,789	64,657	251,447
その他	10,323	3,876	14,200	8,449	3,015	11,464
調整	△19,047	△2,452	△21,500	△15,240	△5,555	△20,795

2022年3月期 業績予想 SBU別営業利益



(単位：百万円)

	22/3期			21/3期		
	Q3累計実績	Q4予想	通期予想	Q3累計実績	Q4実績	通期実績
連結	40,811	7,188	48,000	21,881	3,842	25,724
Staffing	32,467	6,432	38,900	24,670	4,452	29,123
Career	5,153	946	6,100	△328	660	331
Professional Outsourcing	5,125	1,574	6,700	2,471	1,556	4,028
Solution	△2,273	△826	△ 3,100	△3,793	△1,016	△4,809
Asia Pacific	304	195	500	△1,407	△828	△2,235
その他	△324	△175	△ 500	△597	△558	△1,156
調整	357	△957	△ 600	866	△423	442

2022年3月期 業績予想 SBU別EBITDA



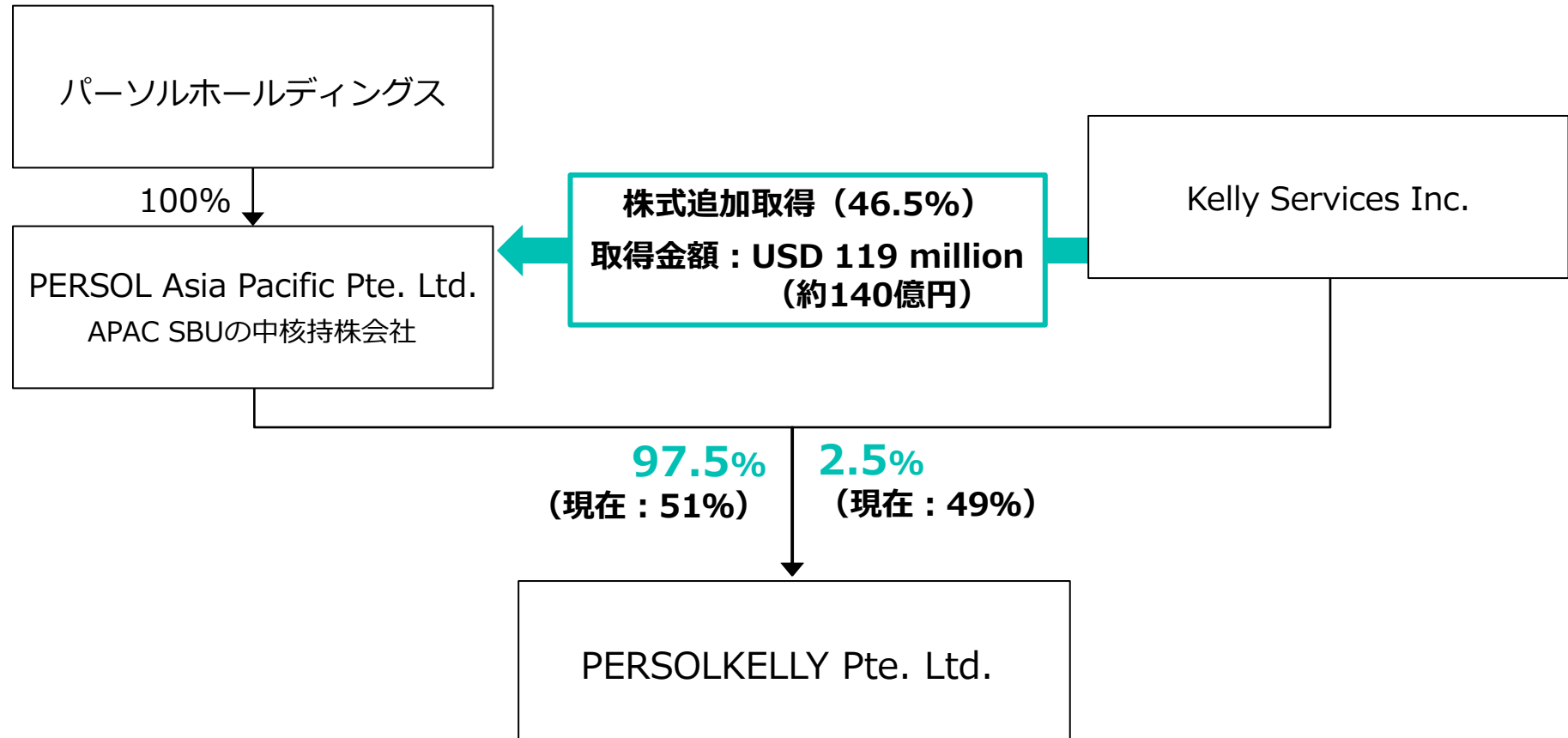
(単位：百万円)

	22/3期			21/3期		
	Q3累計実績	Q4予想	通期予想	Q3累計実績	Q4実績	通期実績
連結	54,876	11,823	66,700	34,674	8,496	43,170
Staffing	35,362	7,337	42,700	27,463	5,387	32,851
Career	7,944	1,855	9,800	2,185	1,538	3,724
Professional Outsourcing	6,259	1,940	8,200	3,595	1,958	5,554
Solution	△1,146	△553	△ 1,700	△3,004	△663	△3,668
Asia Pacific	5,350	1,849	7,200	3,110	832	3,943
その他	17	△17	0	△359	△462	△822
調整	1,088	△588	500	1,683	△96	1,587

PERSOLKELLY株式追加取得及び 今後の事業戦略

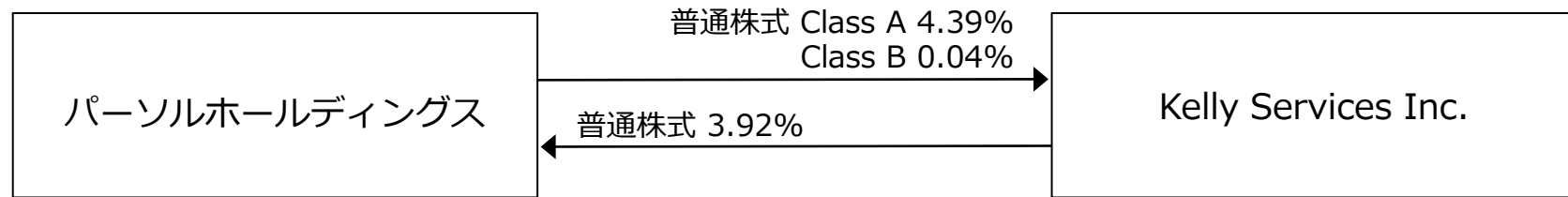
株式追加取得の概要

- 米国Kelly Services Inc. (“KSI”) が保有するPERSOLKELLY Pte. Ltd. (“PERSOLKELLY”) の株式49%のうち46.5%を追加取得し、当社保有持分を97.5%とする
- KSIと契約を締結している大手グローバル企業との関係維持のため、2.5%は引き続きKSIが保有
- 追加取得資金は手元資金で充当し、2022年3月1日に受渡完了予定
- 株式追加取得後もKSIとの協業体制は維持され、サービスブランドも「PERSOLKELLY」を継続使用



資本提携の解消

- 当社とKSIが相互に保有している株式については、持合解消し、資本提携を解消
- KSIが保有する当社株式については、2022年2月14日以降に全量を市場売却予定
- 当社が保有するKSI株式も2022年2月14日に自己株式取得に関する応募を締結済み
- 資本提携の解消後も、友好的な業務提携については維持する方針
- 当社の今期連結業績への影響は軽微



■ 当社が保有するKSI株式

	KSI Class A 普通株式	KSI Class B 普通株式
保有株式数 (株)	1,576,169	1,475
保有総額 (USD million) *	約27	約0.03

KSIによる自己株式取得
(約30億円のキャッシュイン)

■ KSIが保有する当社株式

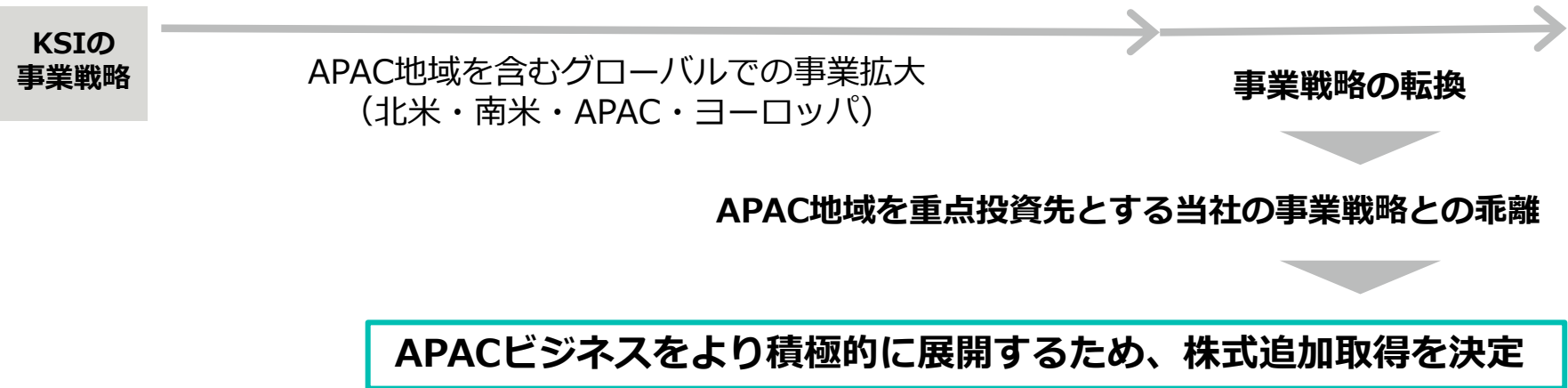
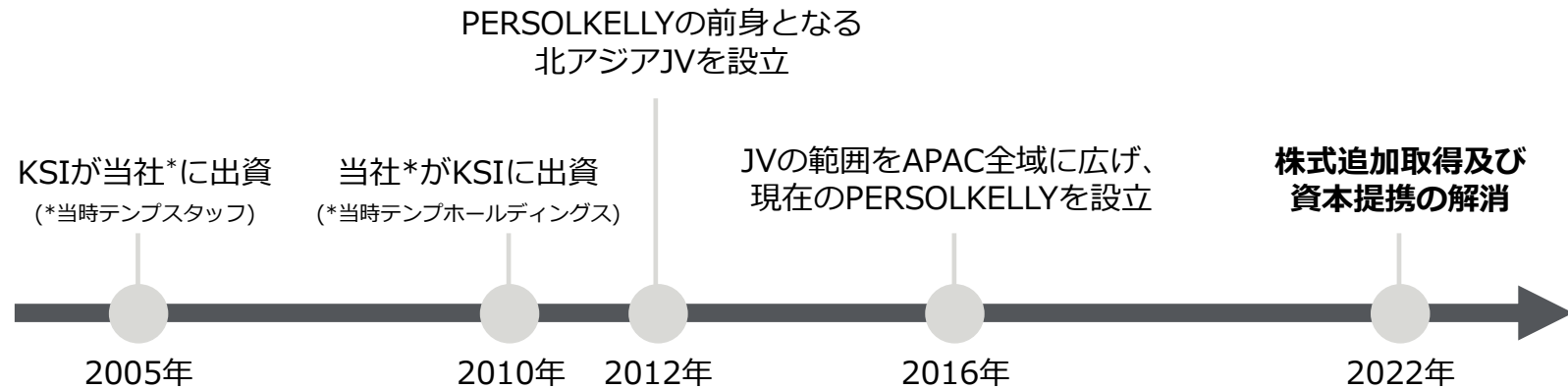
	普通株式
保有株式数 (株)	9,106,800
保有総額 (億円) *	約280

市場売却

* 2022年2月9日時点の株価にて算出

株式追加取得の背景①

- APAC地域におけるJVとして、当社とPSKを設立したKSIが、事業戦略を転換し、重点投資先からAPAC地域を外したことで当社の事業戦略と乖離が発生

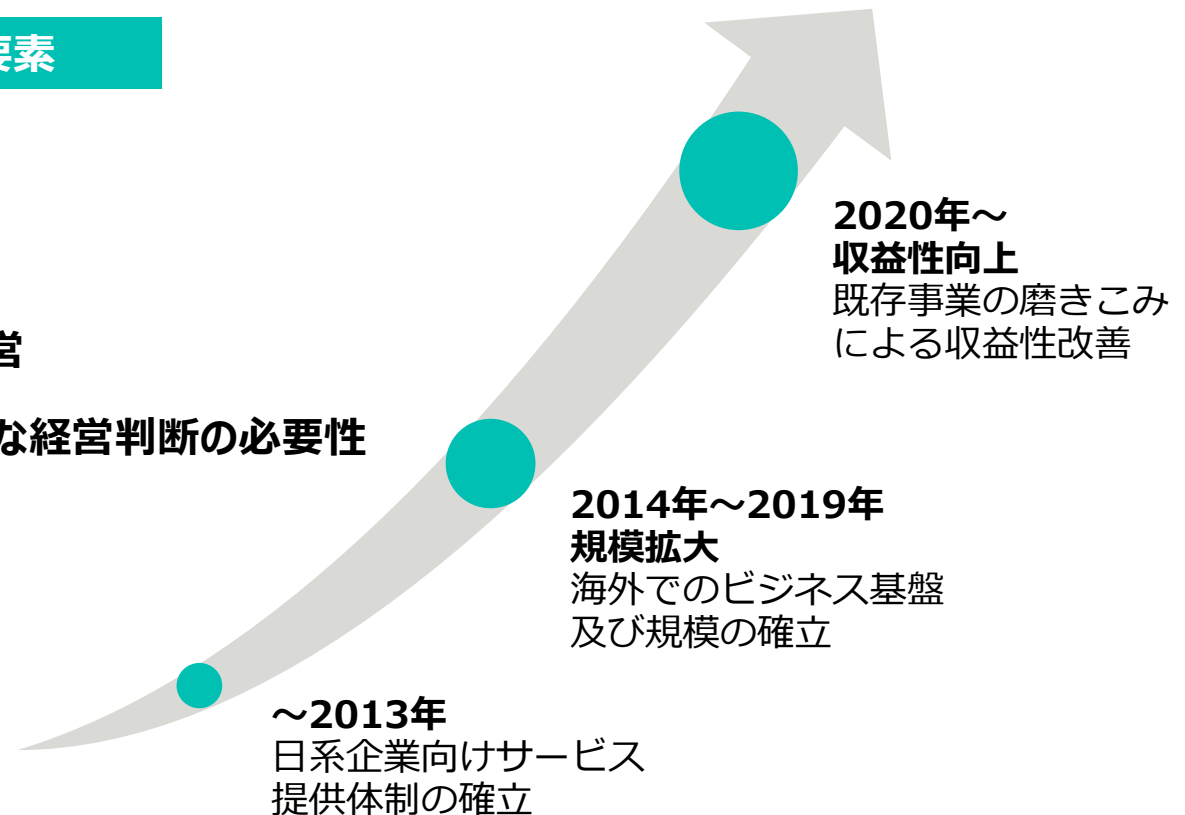


株式追加取得の背景②

- 収益性の向上に注力するフェーズに入り、DX投資を含む投資や、ビジネス変革を機動的に行っていくため、当社にて独自に経営判断ができるよう、株式の追加取得を決定
- KSIとの良好な関係を継続しつつも、当社にて独自に経営を行う素地が整ったと判断

株式追加取得決定の判断要素

- 1 KSIとの事業戦略の乖離
- 2 PERSOLKELLYの黒字化
- 3 知見の蓄積による安定した経営
- 4 収益性向上に向けた、機動的な経営判断の必要性



今後のPERSOLKELLYの事業戦略

- 収益性向上を図り、成長を加速させるため、下記3点の戦略を推進

1 DX投資による生産性の向上

- 人材紹介事業における、候補者検索プロセスの自動化及びAIマッチングの導入

2 バックオフィス機能の最適化

- APAC地域において、バックオフィス機能を最適な場所に統合・集約化することで、効率性向上を図る

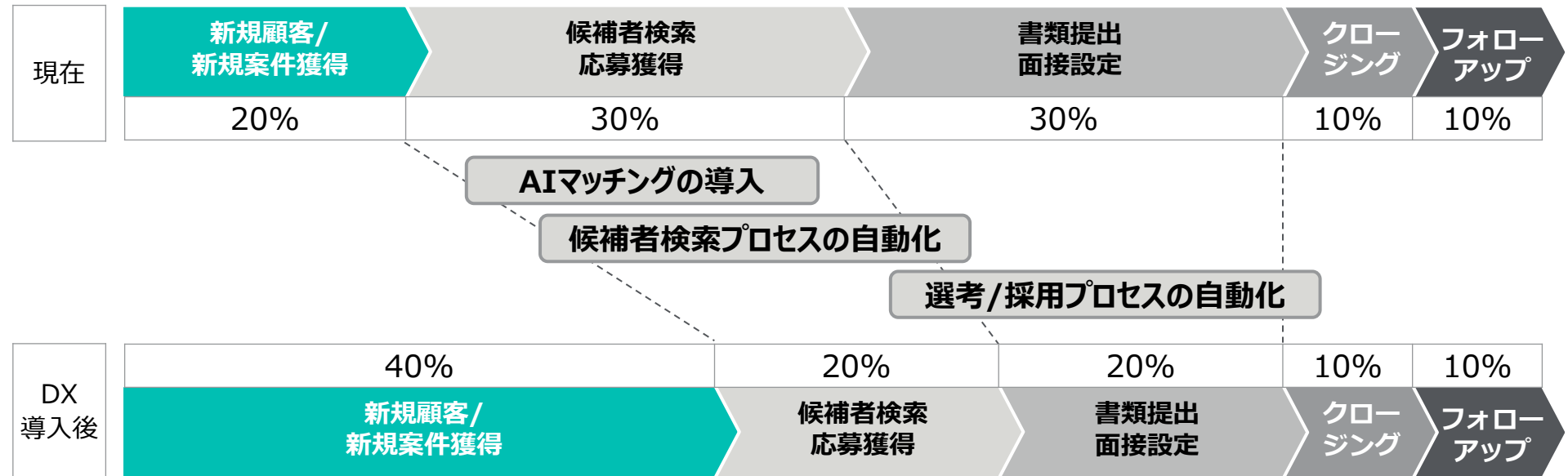
3 事業ポートフォリオ再編成

- コア事業における、収益性のより高い事業への注力及び収益性の低い事業からの撤退
- 今後成長が見込め、将来の基盤事業となりうる事業への注力

事業戦略① – DX投資 –

- AIや社内データベースの活用により、工数の削減と採用決定率の上昇を実現し、生産性向上を図る
- Career SBUとの協業を通じ、国内外双方向でのグループ内ナレッジの共有およびシナジー創出を目指す

■ 人材紹介コンサルタントの就業時間配分

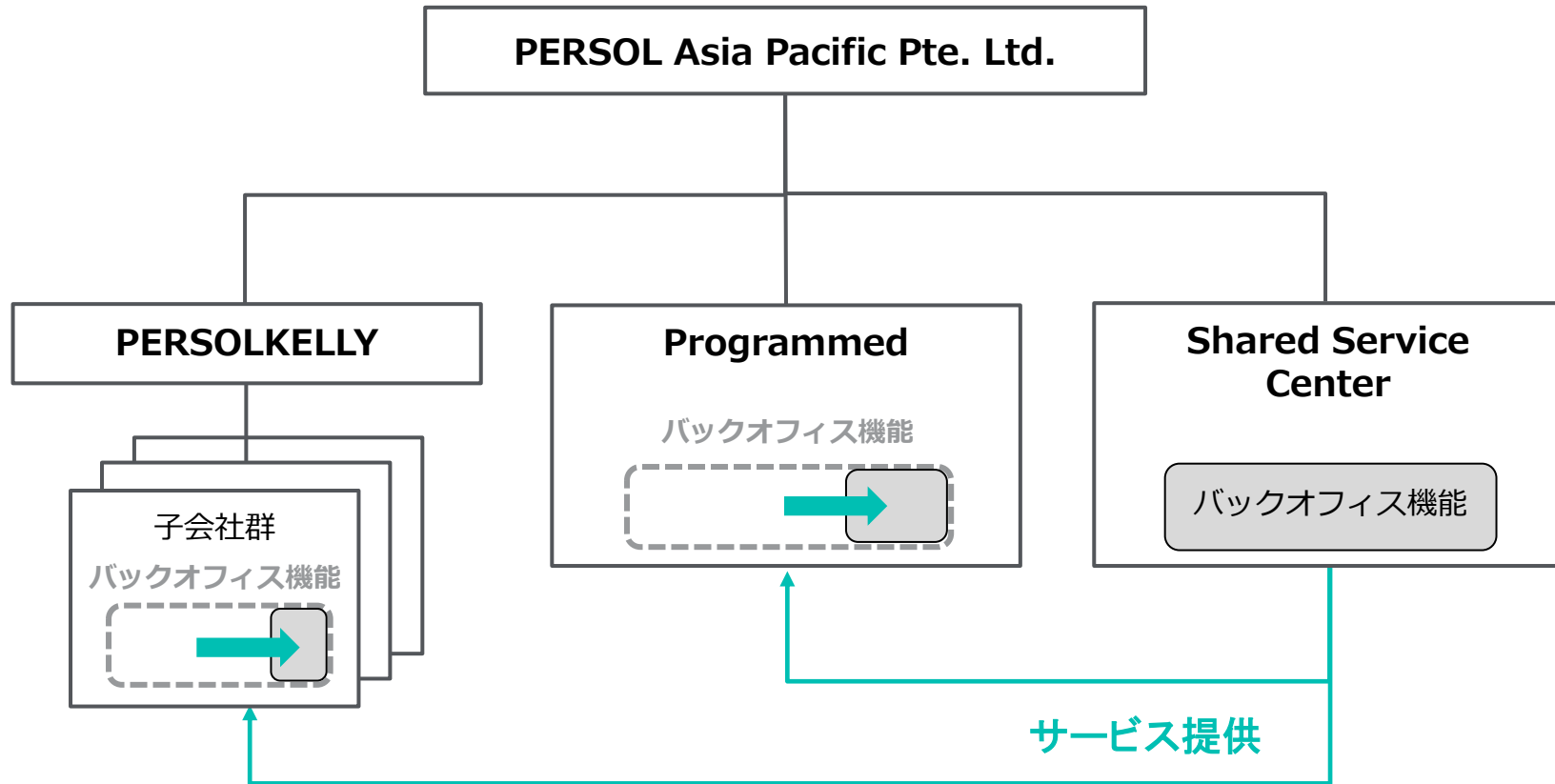


- ・ 新規顧客及び新規案件獲得への注力が可能となり、受注件数は増加
- ・ AIによる候補者検索精度の向上の結果、採用決定率上昇

受注件数増加×採用決定率上昇 = 一人あたりコンサルタントの生産性が30%超向上

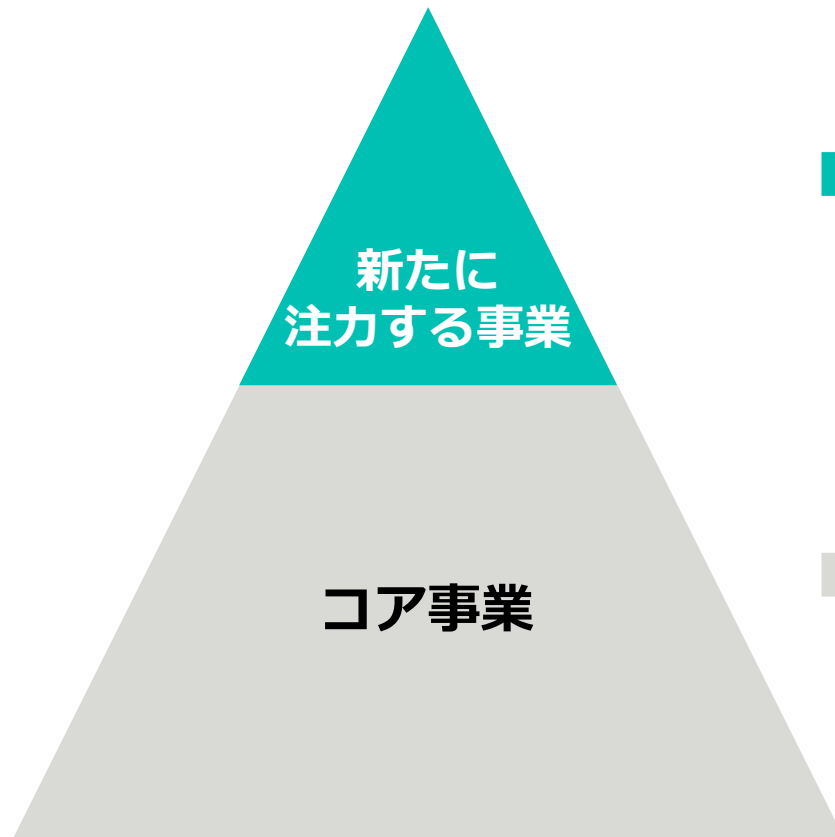
事業戦略② –コスト削減–

- PERSOLKELLYおよび豪州Programmedで各社・国/地域ごとに個別に行っていたバックオフィス機能を、APACビジネス全体最適の視点から、適切な場所に統合・集約化することで、効率性向上を図る



事業戦略③ – 事業ポートフォリオ再編成 –

- 収益性のより高い事業へ注力するとともに、収益性の低い事業からの撤退も視野に入れて事業の選別を行い、より強固なポートフォリオの構築を図る
- 今後成長が見込め、将来の基盤事業となりうる事業へ注力し、次世代成長ドライバーとして大きく伸長させる



成長が見込める事業への注力

- ・ HR Techビジネス
- ・ Healthcare事業

収益性の高い事業への注力

- ・ 人材紹介事業
- ・ オフィス系職種派遣領域（新興国）
- ・ エンジニア派遣領域

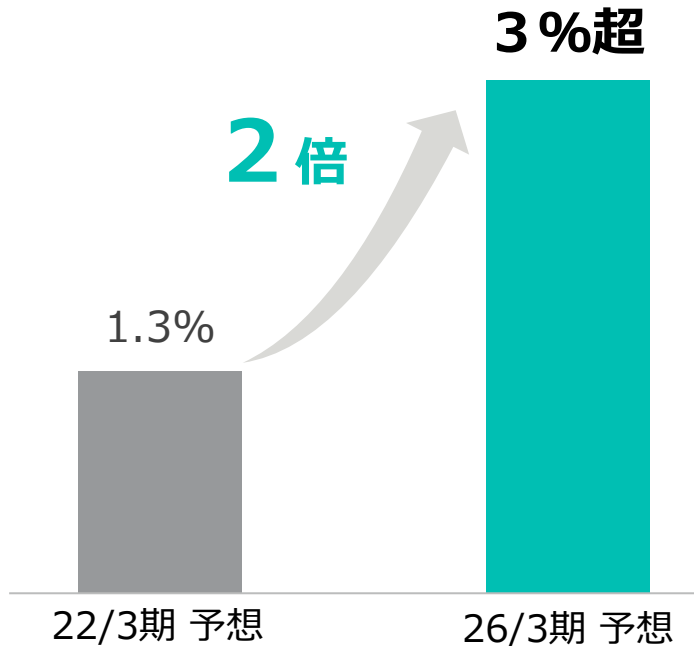
収益性の低い事業からの撤退

- ・ 撤退の可能性も視野に、今後検討

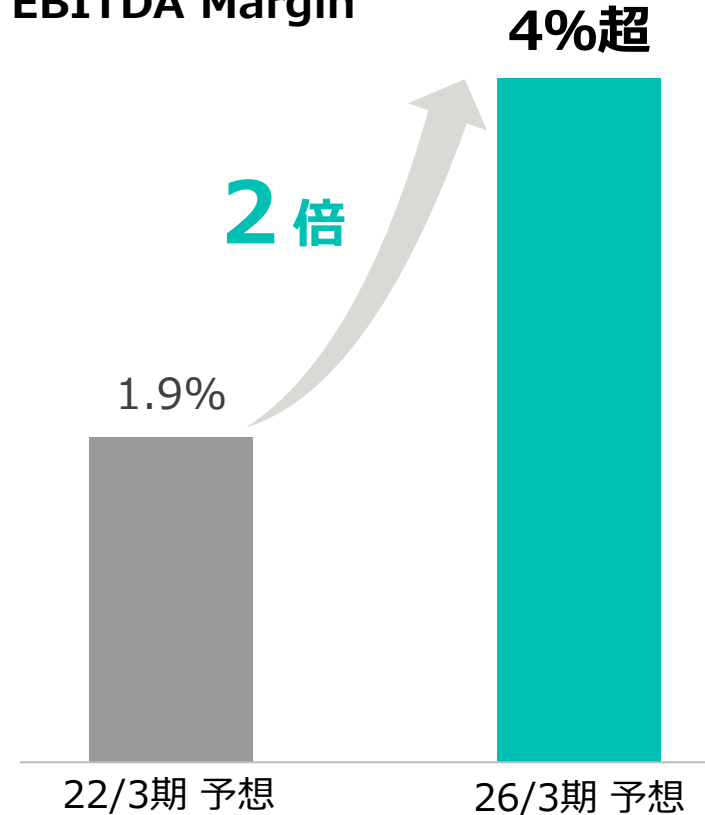
PERSOLKELLYの数値目標

- 次期中期経営計画最終年度である2026年3月期に**営業利益率3%超**、**EBITDA Margin4%超**を実現し、利益率は現在の**2倍以上**に

■ 営業利益率



■ EBITDA Margin



PERSOLKELLYを含むAsia Pacific SBU全体の中期事業戦略及び数値目標については、2022年8月の2023年3月期第1四半期決算発表時に開示予定

Appendix

「派遣スタッフが選ぶ！派遣会社満足度ランキング2021」*1 3年連続 総合満足度1位を獲得！



- パーソルテンプスタッフを最も満足度が高かった会社と回答した方の割合は18.4%*2
- 「満足している理由」19項目の中で「担当者が親身になってくれるから」「担当者との連絡が取りやすいから」「派遣先がよいから」「紹介される求人数が多いから」「担当者の就業中フォローが多いから」「ホームページ・マイページが使いやすいから」「有休休暇をしやすいから」の項目において全体より高い評価をいただいた

*1: 2021年12月22日発表 派遣の働き方研究所「派遣スタッフが選ぶ！派遣会社満足度ランキング2021」

*2: 派遣会社への登録経験がある方（派遣での就業経験の有無、現在の就業状況は不問）に「最も満足度が高かった会社はどこですか？」（自由回答形式、単一回答のみ有効）を調査し、全回答者における「最も満足度が高かった会社」と回答した数の割合を算出

Appendix

— 四半期業績推移

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	249,411	238,222	227,533	238,083	246,883	250,432	262,415	267,342
YoY(%)	3.7%	1.3%	△6.6%	△1.7%	△1.0%	5.1%	15.3%	12.3%
営業利益	10,681	9,115	4,760	8,005	3,842	13,137	13,597	14,075
OPM(%)	4.3%	3.8%	2.1%	3.4%	1.6%	5.2%	5.2%	5.3%
EBITDA	14,997	13,389	8,962	12,322	8,496	17,821	18,263	18,791
EBITDA Margin(%)	6.0%	5.6%	3.9%	5.2%	3.4%	7.1%	7.0%	7.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,266	4,670	2,974	4,880	2,816	8,487	7,060	8,384

Staffing SBU

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	130,871	130,678	129,605	134,086	135,870	137,846	141,507	146,728
YoY(%)	7.2%	6.9%	2.8%	2.4%	3.8%	5.5%	9.2%	9.4%
営業利益	5,905	8,921	7,387	8,361	4,452	10,428	11,433	10,606
OPM(%)	4.5%	6.8%	5.7%	6.2%	3.3%	7.6%	8.1%	7.2%
EBITDA	6,885	9,914	8,283	9,265	5,387	11,370	12,395	11,596
EBITDA Margin(%)	5.3%	7.6%	6.4%	6.9%	4.0%	8.2%	8.8%	7.9%
稼働日数 (日)	58	61	58	61	60	61	58	61

Career SBU

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	19,526	16,827	12,887	13,595	16,258	17,602	17,339	18,702
YoY(%)	△17.2%	△28.5%	△42.1%	△24.9%	△16.7%	4.6%	34.5%	37.6%
営業損益	2,900	1,505	△1,367	△466	660	2,063	1,129	1,960
OPM(%)	14.9%	8.9%	△10.6%	△3.4%	4.1%	11.7%	6.5%	10.5%
EBITDA	3,697	2,316	△526	395	1,538	3,002	2,047	2,894
EBITDA Margin(%)	18.9%	13.8%	△4.1%	2.9%	9.5%	17.1%	11.8%	15.5%

Professional Outsourcing SBU

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	28,842	26,415	27,281	28,680	30,718	28,222	29,526	30,830
YoY(%)	10.1%	10.0%	4.4%	6.8%	6.5%	6.8%	8.2%	7.5%
営業利益	3,070	315	674	1,481	1,556	1,214	1,590	2,320
OPM(%)	10.6%	1.2%	2.5%	5.2%	5.1%	4.3%	5.4%	7.5%
EBITDA	3,216	683	1,049	1,861	1,958	1,589	1,968	2,701
EBITDA Margin(%)	11.2%	2.6%	3.8%	6.5%	6.4%	5.6%	6.7%	8.8%

Solution SBU

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	1,967	952	1,237	1,593	1,918	2,181	2,773	2,966
YoY(%)	310.8%	△29.5%	△32.6%	△14.2%	△2.5%	129.0%	124.1%	86.1%
営業損益	△768	△1,437	△1,260	△1,095	△1,016	△883	△681	△708
OPM(%)	△39.0%	△150.8%	△101.8%	△68.8%	△53.0%	△40.5%	△24.6%	△23.9%
EBITDA	△340	△1,204	△1,018	△781	△663	△527	△314	△304
EBITDA Margin(%)	△17.3%	△126.4%	△82.3%	△49.0%	△34.6%	△24.2%	△11.3%	△10.3%

Asia Pacific SBU

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	70,403	65,980	58,684	62,124	64,657	67,306	74,198	71,183
YoY(%)	△0.5%	△1.5%	△15.7%	△6.2%	△8.2%	2.0%	26.4%	14.6%
営業損益	451	△116	△561	△729	△828	△0	582	△277
OPM(%)	0.6%	△0.2%	△1.0%	△1.2%	△1.3%	△0.0%	0.8%	△0.4%
EBITDA	2,060	1,390	947	772	832	1,675	2,281	1,394
EBITDA Margin(%)	2.9%	2.1%	1.6%	1.2%	1.3%	2.5%	3.1%	2.0%
豪GDP成長率* (%)	2.2%	1.4%	△7.0%	△3.8%	△1.1%	1.1%	9.6%	3.9%
為替 (円/USD)	109.0	108.9	108.2	107.5	106.8	106.1	107.8	108.6
為替 (円/AUD)	75.8	71.6	71.1	72.8	73.7	81.9	83.1	82.4

* 速報値を記載しています

その他

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	2,803	2,364	2,656	3,428	3,015	3,314	3,028	3,980
YoY(%)	83.1%	36.5%	2.7%	14.7%	7.5%	40.2%	14.0%	16.1%
営業損益	△275	△455	△405	263	△558	△55	△497	229
OPM(%)	△9.8%	△19.3%	△15.3%	7.7%	△18.5%	△1.7%	△16.4%	5.8%
EBITDA	△197	△380	△329	350	△462	54	△381	344
EBITDA Margin(%)	△7.0%	△16.1%	△12.4%	10.2%	△15.3%	1.7%	△12.6%	8.7%

調整額（コーポレート及び連結調整）

（単位：百万円）

	20/3期	21/3期				22/3期		
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	△5,003	△4,995	△4,819	△5,425	△5,555	△6,041	△5,958	△7,047
YoY(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
営業損益	△602	382	292	191	△423	371	41	△55
OPM(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
EBITDA	△325	669	556	457	△96	657	266	164
EBITDA Margin(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

のれん残高

(単位：百万円)

SBU	22/3期 Q3末時点残高
Staffing SBU	8,010
Career SBU	17,152
Professional Outsourcing SBU	7,865
Solution SBU	186
Asia Pacific SBU	26,884
PERSOLKELLY	1,705
Programmed Staffing	2,205
Programmed Maintenance	22,934
Programmed その他	38
その他	1,757
合計	61,856

調整後EPS

- 2021年3月期より、配当性向重視の配当方針へ転換。配当性向は、調整後EPSの25%とする
- 調整後EPSは、主にのれんの償却額や特別損益等の影響を除外して算出

$$\text{調整後EPS} = \frac{\text{調整後当期純利益}}{\text{期中平均発行済株式数} - \text{期中平均自己株式数}}$$

$$\text{調整後当期純利益} = \text{親会社株主に帰属する当期純利益} \pm \text{調整項目(非支配株主帰属分を除く)} \pm \text{調整項目の一部にかかる税金相当額}$$

(単位：百万円)

	22/3期 Q1	22/3期 Q2	22/3期 Q3
親会社に帰属する当期純利益	8,487	15,547	23,932
調整項目	2,486	4,659	6,497
調整項目の一部にかかる税金相当額	△132	△422	△448
調整後当期純利益	10,841	19,784	29,980
株式数(株)*	230,119,423	230,187,423	230,299,930
調整後EPS(円)	47.11	85.95	130.18

調整項目の内容

- 企業結合により生じたのれん以外の無形固定資産の償却額
- のれんの償却額
- 特別損益

* 株式数 = 期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数

Appendix

－ サステナビリティ

統合報告書2021の発行

- CEOメッセージをはじめ経営陣のインタビューやパーソルグループの価値創造に関連する情報を網羅
- ESGに関する取り組みを推進し、環境関連や人的資本関連などESG情報の開示充実を図る

統合報告書（日本語版）はこちら

統合報告書（英語版）はこちら



環境への取り組み (Environment)

脱炭素社会

- ペーパーレス推進
- 循環型備品購入の奨励
- テレワーク推進

森林保護

- ペーパーレス推進
- FSC®認証用紙の採用
- 環境配慮型商品の採用
- 環境イベントへの参加

気候変動

- ビジネスカジュアルの奨励
- 省エネルギー対策の徹底
- テレワーク推進

具体的な取り組み事例

■テレワーク推進

ノートPCの支給やチャットツールの導入など、積極的なICTの活用によってテレワーク環境を構築。通勤回数の減少とオフィス電力使用量の削減に貢献し、働き方改革とCO₂削減の両立を目指す

■ペーパーレス推進

グループ年賀状の廃止や電子契約書ツールの導入により、ペーパーレスを推進。社内会議の資料印刷を削減し、紙資源の分別・リサイクルの徹底とともに、紙資源の使用量の削減に取り組み、資源保護及びCO₂削減に努める

【実績】

Staffing SBUにおいて、大規模基幹システム「GENESIS」を導入し、スタッフの給与や有給休暇、年末調整、顧客企業との契約・請求関連などを一括管理。さまざまな書類の電子化を推し進めた結果、2022年には年間で約115万枚の書類が電子化され、年間5.9tのCO₂の削減を見込む（パーソルテンプスタッフ試算）

Diversity, Inclusion & Equality (Social)

- Diversity, Inclusion & Equality (DI&E) が「はたらいて、笑おう。」の実現を支える重要な施策と位置付け、取り組みを加速
- パーソルグループ全体でのDI&E推進のため、海外グループ会社も含めた共通ポリシーの策定を進める

■ ジェンダーダイバーシティ委員会の新設

2021年9月にHMC (Headquarters Management Committee) の下部組織として新設。女性活躍をさらに推進し、グループ横断での人材育成や両立支援を加速させる計画

目的

女性管理職比率向上のための施策の検討と議論

審議対象

グループ横断の女性管理職比率向上戦略及び重要施策

■ 海外子会社Programmedの取り組み

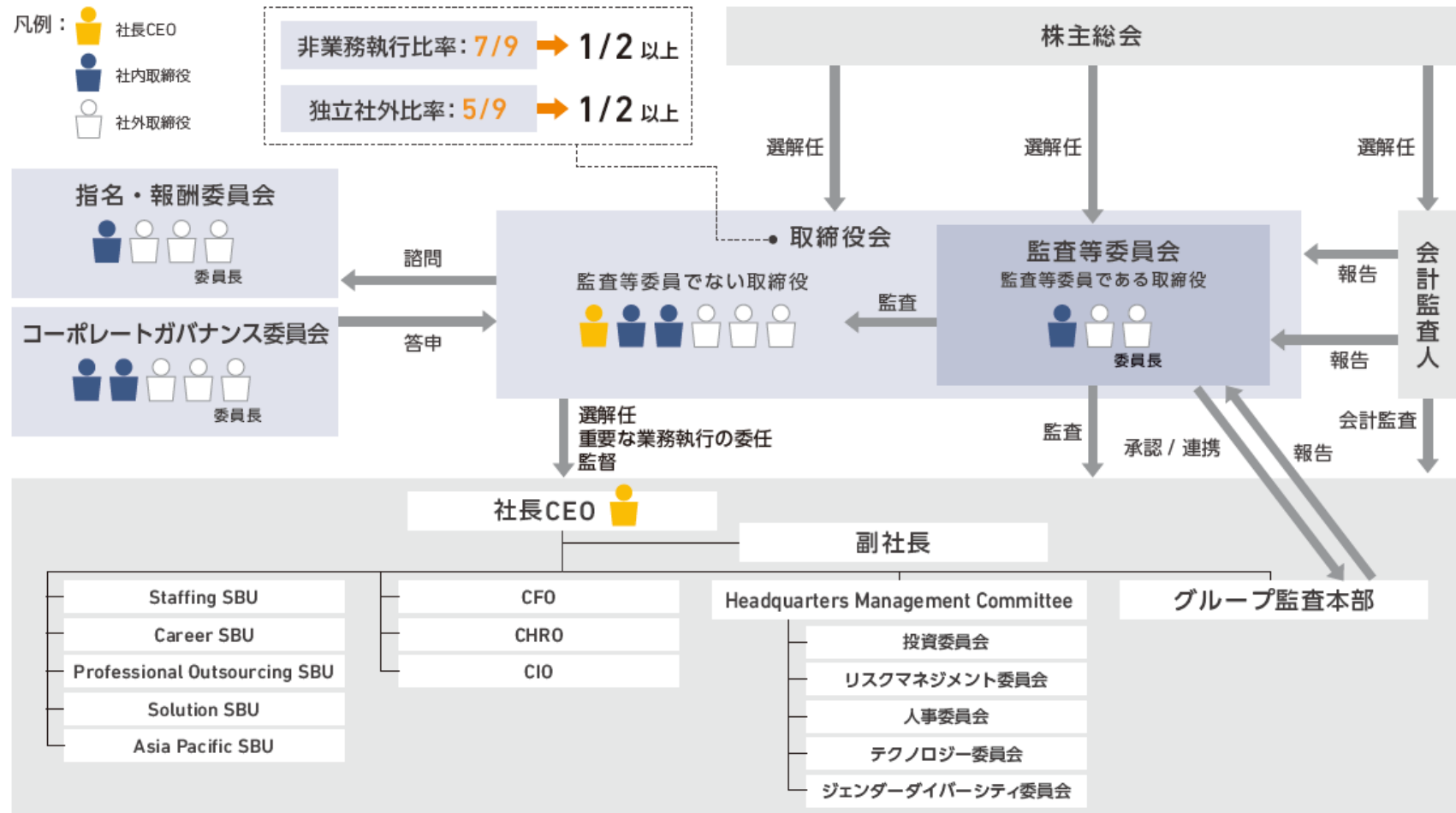
オーストラリアとニュージーランドで総合人材サービスを展開するProgrammedにおいて、月1回のペースでDiversity, inclusion & equality (DI&E) 関連の社内セミナーやイベントを開催するほか、社内外のニュースフィードで浸透施策や啓蒙などさまざまな発信を実施



コーポレートガバナンス体制 (Governance)

- 指名・報酬委員会及びコーポレートガバナンス委員会を設置し、取締役及びグループ経営陣幹部の報酬及び候補者の決定に対する透明性と客観性を高め、取締役会の経営監督機能を強化
- 2021年4月の代表取締役社長CEOの異動についても、指名・報酬委員会によるCEOのサクセッション・プランの審議を経たうえで、取締役会で決議

2021年9月1日現在



各SBUのビジネス概要

Staffing SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材派遣（事務、研究、臨床開発、販売、軽作業） ■ アウトソーシング（事務、官公庁事業、コール・ヘルプデスク、CRO、製造） ■ 紹介予定派遣／人材紹介 	    
Career SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材紹介（中途採用、新卒採用） ■ 転職メディア、ダイレクトソーシング ■ 顧問、アドバイザー紹介 ■ 再就職支援 ■ キャリア研修 	    
Professional Outsourcing SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ アウトソーシング（IT・業務） ■ デジタルソリューション、システム開発 ■ IT・業務コンサルティング ■ エンジニアリング（設計・実験） ■ 人材派遣（IT・機電エンジニア） 	   
Solution SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルソリューション（人材採用、人材管理、教育） ■ インキュベーションプログラム 	    
Asia Pacific SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材派遣 ■ 人材紹介 ■ 設備・施設メンテナンス ■ アウトソーシング ■ 人事・労務コンサルティング ■ 教育、研修 ■ 訪問介護 	 

当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2022年2月14日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。